

科目ナンバリング		U-LAS24 10001 SJ48							
授業科目名 <英訳>		ロシア語 I A (文法) R1101,R1102 Elementary Russian A			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 堀口 大樹		
群	外国語科目群		分野(分類)		使用言語		日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	火5/木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
<b>[授業の概要・目的]</b>									
ロシア語の初級文法を学習し、キリル文字の読み方や発音の基礎、初歩的な文法事項を身につける。指定した教科書に沿って授業を進めるほか、補足資料を随時配布する。またロシア語を学ぶことで、ロシアやロシア語圏の文化、社会、歴史に関する基本的知識も得る。									
<b>[到達目標]</b>									
ロシア語のしくみを理解し、ロシア語の基本的な語彙と、バランスの取れた4技能(読む、書く、聞く、話す)の基礎を身につける。またロシア語の基礎を学ぶことで、ロシアの文化や社会に関する基本的な知識を持ち、自分なりのロシア観や、ロシアを考慮に入れた世界情勢を把握する視点を得る。									
<b>[授業計画と内容]</b>									
教科書に沿って以下の項目を学ぶ。									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文字と発音、簡単な挨拶</li> <li>2. 文字と発音、簡単な挨拶</li> <li>3. 第1課(名詞と代名詞)</li> <li>4. 第1課(まとめ)</li> <li>5. 第2課(名詞の数、形容詞)</li> <li>6. 第2課(動詞の現在形、対格)</li> <li>7. 第2課(まとめ)</li> <li>8. 第3課(動詞の過去形)</li> <li>9. 第3課(前置格、- 動詞)</li> <li>10. 第3課(まとめ)</li> <li>11. 復習</li> <li>12. 第4課(生格、所有の表現)</li> <li>13. 第4課(動詞の完了体・不完了体)</li> <li>14. 第4課(まとめ)</li> </ol>									
<p>期末テスト</p> <p>15. フィードバック</p>									
初回の授業に際して、ロシア語を選んだ理由について簡単なアンケートを取る。									
教科書の説明のほか、練習問題を使って文法事項を定着させる。また発音は極めて重要であるので、教科書の例文などの音読を積極的に行うほか、ロシア語の歌を歌って(音痴でも全く問題なし!)ロシア語の発音に慣れる。ロシアの文化や社会に触れるため、視聴覚資料も使う。									
授業は14回、期末試験、フィードバック1回とする。									
----- ロシア語 I A (文法) R1101,R1102(2)へ続く -----									

ロシア語ⅠA(文法) R1101,R1102(2)

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

平常点(50%)：授業での課題(25%)、授業外での課題(25%)  
期末試験(50%)

**[教科書]**

青島陽子、シュラトフ・ヤロスラブ、中野悠希『ロシア語の世界へ！ 初心者の旅』（朝日出版社）

**[授業外学修(予習・復習)等]**

予習よりも復習に力を入れ、授業で習った文法事項や単語・表現を自分のものにするよう努めること。

語学の上達は、授業プラス授業外で日々どれだけその言語に触れているかにかかっている。授業以外にも、インターネットなどでロシア語の音楽やラジオを聴いたり、動画を見たり、ロシア語で書かれたサイトを覗いてみたり(もちろん全部わからなくても大丈夫)、ロシア人留学生と交流するなど、積極的にロシア語に触れてもらう。

またロシアやロシア語圏の文化や社会に対して、常にアンテナを張っていてほしい。

**[その他(オフィスアワー等)]**

**[主要授業科目(学部・学科名)]**